

平成 15年 (2003年) 十勝沖地震について (第 18報 最終報)

これは速報であり、数値等は今後変わることもある。
この地震の災害情報はこの報告をもって最終報とします。

1. 本省及び地整等の体制について

国土交通本省	9月 26日	4:50	非常体制
	9月 30日	12:00	警戒体制
	10月 3日	17:00	注意体制
北海道開発局	9月 26日	4:50	非常体制
	10月 3日	16:00	警戒体制
東北地方整備局	9月 26日	4:50	注意体制
		6:10	警戒体制
	12:00	注意体制	
		21:00	体制解除
北海道運輸局	9月 26日	4:50	非常体制 (本部設置)
東北運輸局	9月 26日	6:08	警戒体制
		11:00	注意体制
	9月 30日	17:00	体制解除
東京航空局	9月 26日	6:30	対策本部設置

2. 地震概要 (震度 5強以上)

1) 9月 26日 4時 50分頃発生地震

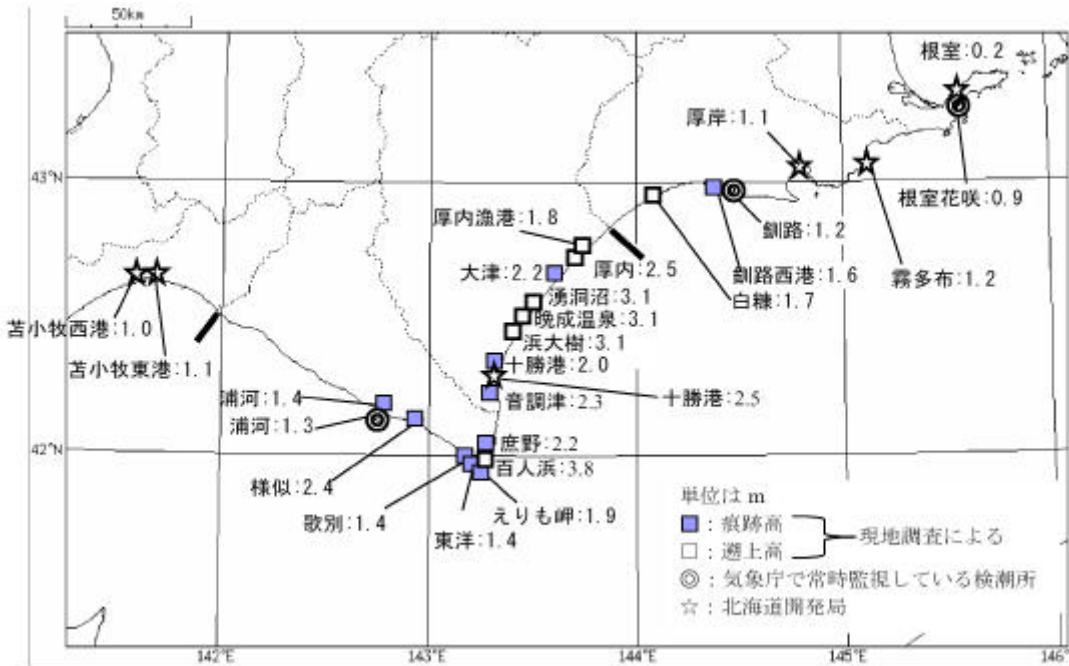
発生日時 平成 15年 9月 26日 4時 50分頃
 震源地 釧路沖 (北緯 41度 46分、東経 144度 04分)
 震源の深さ 約 42 km
 地震の規模 マグニチュード 8.0
 各地の震度 (震度 5強以上)
 震度 6弱 北海道幕別町、釧路町、新冠町、浦河町、静内町、鹿追町
 豊頃町、忠類村、厚岸町
 震度 5強 北海道釧路市、別海町、更別村、厚真町、本別町、広尾町
 足寄町、音別町、帯広市、弟子屈町

2) 9月 26日 6時 08分頃発生地震

発生日時 平成 15年 9月 26日 6時 8分頃
 震源地 十勝沖 (北緯 41度 42分、東経 143度 42分)
 震源の深さ 約 21 km
 地震の規模 マグニチュード 7.1
 各地の震度 (震度 5強以上)
 震度 6弱 北海道浦河町
 震度 5強 北海道新冠町

3)津波の観測状況

気象庁地震機動観測班が実施した津波現地調査結果 (速報値)



遡上高 津波が陸地をはい上がって到達した最高の高さ。検潮儀に記録された値の数倍になる事もある。
 痕跡高 津波が直接的に達した (通過した) 高さ、斜面や建物に漂着物や変色などの痕跡が残る。

気象庁で常時観測している検潮所における津波観測状況》

- 釧路 第1波(05時06分) 1.0m、最大波(09時03分) 1.2m
- 根室市 第1波(05時27分) 0.9m、最大波(05時40分) 0.9m
- 浦河 第1波(05時07分) 0.2m、最大波(06時24分) 1.3m
- 八戸 第1波(05時44分) 0.6m、最大波(08時17分) 1.0m
- 宮古 第1波(05時34分) 0.6m、最大波(05時44分) 0.6m
- 函館 第1波(06時05分) 0.3m、最大波(08時18分) 0.8m

4)有感地震回数 (10月3日 12時00分現在)

66回 (本震を含む)

5)余震確率 (10月3日 12時00分現在での推定)

10月3日 15時から72時間以内に

- M7.0 (ところによっては震度 6弱程度) の余震の発生する確率は 20%
- M6.0 (ところによっては震度 5弱程度) の余震の発生する確率は 50%

3.政府の対応

官邸対策室設置 (9月26日 5:15)
 緊急参集チームに河川局長参加
 内閣府情報対策室設置 (9月26日 5:15)
 防災担当大臣記者会見 (9月26日 7:12)
 内閣府にて「災害対策関係省庁連絡会議」開催 (9月26日 8:30)
 政府調査団派遣 (9月26日 16:30~ 27日)
 官邸対策室閉鎖 (9月27日 9:30)

4.国土交通省の対応

国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める。
 被災状況について詳細調査及び応急対策を実施中
 災害対策用ヘリコプター「ほっかい」にて現地調査
 9月26日 9:40から14:37まで
 9月27日 6:20から14:45まで
 9月28日 10:00から14:40まで
 災害対策用ヘリコプター (東北、関東地方整備局配備)を応援出動待機 (26日9:30待機解除)。
 国土技術政策総合研究所等から河川、道路、港湾、下水道、建築、ダム の専門家を現地へ派遣 (9月26日から)
 政府調査団として、河川局防災課長ほか10名を派遣 (9月26日16:30~ 27日)
 河川局災害復旧担当職員2名を緊急調査のため現地へ派遣 (9月30日から10月1日)
 十勝川及び石狩川の2水系の特に被害の甚大な箇所については、直轄河川緊急復旧事業に着手 (10月3日から)

5.人的被害 (消防庁調 10月2日 12:00現在)

都道府県名	人的被害 (人)					住家被害 (棟)		
	死者	行方不明者	負傷者			全壊	半壊	一部破損
			重傷者	軽傷者	計			
北海道		2	59	696	755	12	31	470
青森県			1		1			
岩手県				1	1			
計		2	60	697	757	12	31	470

6.所管施設等の状況

道路 (10月3日 16時 00分現在)

- 1)高速自動車国道
 通行規制継続 無 (通行規制 10区間 全て解除)
- 2)有料道路
 通行規制継続 無 (通行規制 1区間 全て解除)
- 3)直轄国道
 通行規制継続 2区間 (通行規制 27区間 解除 25区間)
 全面通行止め規制 1区間
 片側交互通行規制 1区間

通行規制状況

地整名	路線名	区間・場所	距離 km	上下	開始		解除		被害状況等	備考
					日	時刻	日	時刻		
北海道開発局	242	池田町利別～幕別町明野	0.8	上下	9/26	11:30			千代田大橋下部工損傷	全止め 9/29 6:00 片側交互通行開始 10月5日を目途に全面通行開始予定
	336	豊頃町長節～浦幌町共栄	14.4 1.4	上下	9/26	6:50			十勝河口橋段差	9/28 21:00規制延長短縮 全止め 応急復旧作業中 10月7日を目途に片側交互通行開始予定

4)補助国道 (東北地整のみ)

通行規制 無

5)地方道

通行規制継続 14区間

	規制箇所	解除箇所	規制継続箇所
北海道	28	14	14
岩手県	2	2	0
計	30	16	14

鉄道関係 (10月 3日 15時 30分現在)

別紙参照

空港・航空保安施設の被害状況等 (10月 3日 16時 00分現在)

1)空港・航空保安施設の被害状況

釧路空港の被害状況

施設名	被害箇所及び状況
管制塔	天井落下のため、管制業務の提供が不可能
空港ターミナルビル	天井落下

管制塔及び空港ターミナルビルに応急措置を実施し26日 15時から空港業務が再開。

26日午前 6時 30分、東京航空局において災害対策本部を設置。

1.東京局職員 4名 (管制 1名、無線 2名、建築 1名)を26日午後、現地に派遣。

2.簡易管制卓を26日、羽田より空輸。

その他の空港においては特段の被害なし。

通常運行。

○高速バスの運休状況 (10月 3日 16時 00分現在)

通常運行

海上交通の状況 (10月 3日 16時 00分現在)

通常運行

港湾施設の被害状況 (10月 3日 16時 00分現在)

都道府県名	管理者名	港湾名	地区名	被害状況
北海道	苫小牧管理組合	苫小牧港	東港浜厚真地区	臨港道路一部陥没
			西港商港地区	岸壁エプロン等に段差
	釧路市	釧路港	西港地区	第4ふ頭 岸壁エプロンの沈下等： 一部使用不可
			東港地区	副港漁業ふ頭、北ふ頭 岸壁、物揚場エプロンの 段差亀裂等
	根室市	根室港	花咲地区	岸壁背後用地等の沈下 等
	浜中町	霧多布港	本港地区	防波堤(波除)の変位、岸 壁エプロンの陥没等
	広尾町	十勝港	内港地区	南ふ頭、第2～4ふ頭 岸壁背後で沈下等
	白老町	白老港	第2商港区	港湾施設用地、臨港道路 で沈下等
浦河町	浦河港	本港地区	岸壁、物揚場エプロンの 段差等	

釧路港西港区の第4ふ頭岸壁(-10m)が使用不可能、周辺の施設で代替
 釧路港、霧多布港、十勝港の一部の施設については応急復旧の準備中
 ・その他の施設については応急措置により使用可能

港湾局所管海岸保全施設の被害状況等 (10月 3日 16時 00分現在)

都道府県名	管理者名	港湾名	地区名	被害状況
北海道	浜中町	霧多布港	本港地区	堤防の水叩きが沈下。背後 への影響なし

河川局所管海岸海岸保全施設 (10月 3日 16時 00分現在)

1) 海岸保全施設の被害状況

整備局名	都道府県名	(区分) 海岸名	被害箇所	被害状況等	浸水家屋数		避難状況
					床上	床下	
北海道	北海道	(補助海岸)	筑紫恋海岸	護岸斜路沈下			
			新川海岸	水門管理用の階段破損			
			水取場海岸	防潮堤水叩沈下			
			十勝太海岸	護岸水叩沈下			

注) 北海道の直轄海岸、青森県・岩手県・宮城県の補助海岸については、異常なし

2)施設背後の通行規制状況

通行規制なし

河川 (10月3日 16時00現在)

1.河川の点検状況

【直轄河川】

直轄河川においては、すべて点検を終了

【補助河川】

北海道管理の河川においては、すべて点検を終了

2.被害状況

【直轄河川】 5水系 14河川 80箇所 (すべての箇所で応急措置済み)
特に被災の甚大な箇所については、緊急復旧工事に着手

水系名	河川名	市町村名	箇所数
干勝川	干勝川	豊頃町、幕別町、浦幌町	32箇所
"	礼作別川	豊頃町	4箇所
"	牛首別川	豊頃町	2箇所
"	久保川	豊頃町	1箇所
"	礼文内川	豊頃町	2箇所
"	利別川	豊頃町	6箇所
"	浦幌十勝川	浦幌町	8箇所
"	下頃辺川	浦幌町	11箇所
標津川	標津川	標津町、中標津町	4箇所
"	武佐川	中標津町	1箇所
"	シュラ川	標津町	1箇所
釧路川	釧路川	釧路市、釧路町、弟子屈町	5箇所
網走川	網走川	女満別町	1箇所
石狩川	清真布川	栗沢町	2箇所
		合計	80箇所

【補助河川】 36河川 153箇所

現業所	河川名	市町村	箇所数
釧路	茶路川	白糠町	2箇所
"	音別川	音別町	6箇所
"	チヨロベツ川	厚岸町	1箇所
"	舌辛川	阿寒町	1箇所
"	遮路川	白糠町	4箇所
"	古川	白糠町	1箇所
"	コイト川	白糠町	1箇所
札幌	馬追運河	長沼町	1箇所
"	南6号川	長沼町	1箇所
帯広	旧オベト川	浦幌町	1箇所
"	オシタツ川	池田町	5箇所
"	猿別川	幕別町	4箇所
"	浦幌川	浦幌町	11箇所
"	十勝静内川	浦幌町	4箇所
"	常室川	浦幌町	1箇所
"	川流布川	浦幌町	8箇所
"	牛首別川	豊頃町	14箇所
"	十弗川	池田町	2箇所

"	士幌川	音更町	6	箇所
"	生花苗川	大樹町	10	箇所
"	当縁川	忠類村	10	箇所
"	紋別川	大樹町	23	箇所
"	歴舟川	大樹町	6	箇所
"	佐野川	足寄町	1	箇所
"	旧途別川	幕別町	3	箇所
"	居辺川	池田町	1	箇所
"	久保川	豊頃町	10	箇所
"	山蔭川	豊頃町	4	箇所
"	湧洞川	豊頃町	3	箇所
"	礼文内川	豊頃町	1	箇所
"	清見二線川	池田町	2	箇所
"	農野牛川	豊頃町	1	箇所
室蘭	ケリマイ川	三石町	1	箇所
"	有珠川	苫小牧市	1	箇所
"	元浦町	浦河町	1	箇所
"	厚真川	厚真町	1	箇所
	36河川	合計	153	箇所

ダム (9月 26日 19時 00分現在)

直轄ダム 9ダム	}	一次・二次点検全ダム終了。北海道の高見ダム(補助) 幕別ダム(利水)以外のダムについては特に異常なし。
補助ダム 20ダム		
利水ダム 45ダム		

北海道の補助ダム高見ダムの堤体天端に小規模クラックが3箇所確認されたが堤体の安全性に影響があるものではない。現在、応急対策も完了し、今後専門家等と復旧工法等について検討していく。

北海道の利水ダム幕別ダムについては、小規模な崩落であり堤体に直接影響があるものではない。今後専門家等と復旧工法等について検討していく。

砂防 (10月 3日 16時 00分現在)

現在のところ被害報告なし

下水道施設 (10月 3日 16時 00分現在)

1) 下水道の点検状況

北海道 点検継続中
東北地方整備局管内 点検終了
(被災箇所 北海道 14)

2)下水道施設の被害状況

都道府県名	管理者名	施設名	被害状況等
北海道	浦河町	浦河浄化センター	処理場 沈砂池から水処理へ送る汚水管の破損 処置済み 管渠 マンホール周辺の舗装浮き上がり(5~15cm)(100ヶ所程度)、 管渠の断裂(2箇所 L=81m) 仮設ポンプにより排水中
北海道	豊頃町	大津下水処理場	処理場 処理場内道路舗装と施設周りの陥没、茂岩中継ポンプ場内 の道路舗装と施設周りの陥没及び場内の雨水用管渠破損と雨水柵 沈下 管渠 マンホール周辺に液状化あり(43箇所、最大90cm) 管渠破 損L=7.8km 仮設ポンプにより排水中(13箇所)
北海道	池田町		管渠 管渠破損 蛇行(L=187m) 仮設ポンプにより排水中
北海道	釧路市		管渠 マンホール周辺に液状化あり(数10カ所) 管渠が断裂(2カ 所) 1カ所は仮排水管設置完了、もう1カ所は10/4迄に仮排水路管 終了予定(仮排水対応中) 管渠が蛇行。屈折(汚水管L=約1500m、 雨水管L=約130m)
北海道	釧路町		管渠 ポンプ場流入管渠とマンホール周辺に液状化あり30cmか ら1m(数10カ所) 管渠が蛇行(1カ所) 仮設ポンプにより排水中
北海道	阿寒町		管渠 管渠が埋設している道路が70~80cmの陥没(L=1.0k m) マンホール周辺に液状化(4カ所) 仮設ポンプにより排水中
北海道	音別町	音別町浄化センター	処理場 水処理棟と管廊の間のエキスパンジョイントにずれ (5cm)が生じている。最終沈殿地のポンプ室に土砂流入。施設周り が液状化により沈下、ルーフトレインの外部の一部と接続する排水柵の 浮上あり。放流渠の破損 蛇行あり。(L=400m) 管渠 マンホール周辺に液状化(25箇所) 管渠断裂 蛇行(約 2.9km) 一部の地域で下水道使用不可。住民一時避難及び仮設ト イレによる対応。

公園施設(10月3日16時00分現在)

1)公園の点検状況

点検終了
(被災箇所 北海道6)

2)公園施設の被害状況

都道府県名	管理者名	施設名	被害状況等
北海道	北海道	十勝エコロジーパーク	水路の人道橋2橋(L=3.2m W=2.3及びL=3.0m,W=2.3m)で20cm程度 沈下 道路橋1橋(L=6.0m,W=3.8m)で20cmの沈下。擁壁にクラック 発生(3mm程度) ずれ2cm程度 立入禁止
北海道	札幌市	里塚わんぱく緑地	園路のインターロッキングブロックが不陸(約30m) 立入禁止
北海道	足寄町	里見が丘公園	トイレの合併浄化槽が浮き上がった。 使用禁止
北海道	釧路市	山花公園	園路 法面崩壊(L=450m、W=9.0m) 汚水浄化装置が隆起。 立入禁止
北海道	釧路市	鶴ヶ岱公園	四阿が傾いた。園路陥没(歩道舗装60m ² 、インターロッキングブロッ ク10m ²) 緑石L=30m不陸 立入禁止
北海道	釧路市	釧路大規模運動公園	園路陥没(L=200m、W=2m) 汚水マンホール3基、雨水柵1基 隆起、音響用ポールが傾いた 立入禁止

住宅 (10月 3日 16時 00分現在)

公営住宅の被災状況

道営 16団地、市町営 26団地で被害あり。

営繕施設 (10月 1日 9時 00分現在)

北海道内の被災地における所掌施設において、現在、業務上の支障なく使用

地殻変動観測 (9月 30日 20時 30分現在)

国土地理院は、26日12時までの電子基準点 (GPS連続観測点) データを解析し地殻変動の状況を明らかにするとともに、それを基に震源断層モデルを算出した。これらの結果、

- 地震に伴い、えりも町の電子基準点が最大約0.9m東南東方向へ移動し、大樹町の電子基準点が約0.3m沈降していること、
- 震源断層は、長さ約86km、幅約83km、南東から北西に傾き下がる低角の逆断層 (傾斜角22度) で、北西側が南東側にのり上げるかたちで約5mずれたこと、
- これは1952 (昭和27) 年十勝沖地震 (マグニチュード8.2) のそれとほぼ同様の断層運動であったこと

等が判明した。

さらにその後のデータ解析から、襟裳岬を中心とした北海道の広い範囲で最大3cm (2日間) 程度の地殻変動を検知しつつあり、これは表記地震の余効変動とみられる。

問合先 河川局防災課災害対策室 水落 代 表： 5253 - 8111 内線 35 - 822 直 通： 5253 - 8461
--

事業者名	線名	運転中止区間	運転中止		運転再開		主な被害状況等
			日	時間	日	時間	
J R 北海道	日高線	苫小牧 ~ 鷓川	26	4:50 頃	26	18:17	鷓川 - 静内 (台風10号以後バス代行。10月6日再開予定)
		静内 ~ 様似	26	4:50 頃			線路変状等 静内 - 様似(バス代行。10月6日再開予定)
	根室線	滝川 ~ 帯広	26	4:50 頃	26	9:00 頃	運転再開
		帯広 ~ 幕別	26	4:50 頃	28	6:17	運転再開
		幕別 ~ 池田	26	4:50 頃			幕別 ~ 利別間 利別川橋梁橋桁破損(1 3連PC桁のシュール落下) 幕別 - 池田(バス輸送)
		池田 ~ 厚内	26	4:50 頃	3	6:16	運転再開 池田 ~ 厚内間 線路陥没、築堤崩壊、道 床流出、線路変状等(復旧) 池田駅ホーム変状(復旧) 照栄信号所構内信号機傾斜(復旧)
		厚内 ~ 白糠	26	4:50 頃	1	6:32	運転再開 直別駅構内で特急まりも1軸脱線(載 線) 厚内 ~ 別保間 線路陥没、道床流出、線 路変状等(復旧) 直別駅構内信号機傾斜(復旧)
		白糠 ~ 釧路	26	4:50 頃	27	8:53	運転再開
		釧路 ~ 厚岸	26	4:50 頃	28	6:34	運転再開
		厚岸 ~ 根室	26	4:50 頃	30	6:00	運転再開 線路陥没、道床流出等